

市議会だより おおだ

い3い3な秋
見つけたい!!

No.53

2018 (平成30) 年10月18日発行

- 9月定例会 9月3日～27日
- 地震対策整備・豪雨災害復旧を中心に補正予算…2
- 小中学校教室等のエフコソ設置、子ども・子育て支援等11人が市政を問う…8
- 市民の声を市政に！議会報告会開催…15

大田星空シアター

大田西中学校体育祭



川合小学校運動会マーチングバンド

水上町交通安全デモ村

編集・発行
大田市議会

〒694-0064 鳥取県大田市大田町大田口11111 TEL:0854-82-1600 FAX:0854-82-9927
<http://www.city.ohda.lg.jp/> E-mail:o-gikajimu@city.ohda.lg.jp

9月定例議会は一般会計、特別会計の平成30年度補正予算のほか、条例の一部改正、一般案件について、慎重に審議した結果、全議案とも原案どおり可決しました。

また、平成29年度の決算（一般会計、特別会計、企業会計）については、決算特別委員会を設置し審査を行い、全件認定しました。

災害復旧を中心に

(総額 251億2,628万円)



大田消防署三瓶出張所 庁舎整備事業

1,220万円

H30年度は建築解体設計、地質調査
(島根県西部地震により被災したため、緊急
に建替え、活動拠点施設として整備)



現年土木災害復旧事業

1億5,330万円

7月の梅雨前線豪雨により被災した
道路 59ヶ所

人事案件

【異議なし】

▼人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること

現委員である児島ミユキ氏(仁摩町)の任期が本年12月31日満了のため、同氏を再任することについて、意見を求めたもの。任期は3年。

【同意】

▼教育委員会委員の任命につき同意を求めること

現委員である梅枝奈保美氏(大田町)の任期が本年11月28日満了のため、その後任として木村貴子氏(久利町)を任命することについて同意を求めたもの。任期は4年。

みなさんから請願・陳情

【継続審査(総務教育委員会付託)】

大田市内の公立小・中学校の教室等に「エアコン設置」を求めること

(請願者) 大田市立大田小学校内
大田市PTA連合会会長 内藤
信二

9月定例市議会

平成30年9月3日(月)～
9月27日(木)

～安心・安全な住みよい大田市を目指して～

地震対策整備・7月豪雨

平成30年度一般会計補正予算 10億1,004万円

主な補正内容



大阪北部地震のブロック塀 倒壊事故による安全対策事業 538万円

(まちづくりセンター、市営墓地、
小学校 計6施設)



国民宿舎さんべ荘改修事業 6億円

(島根県西部地震による被害や老朽化
による大規模改修)

その他の補正	補正額(万円)
島根県西部地震対策費(被災住宅の宅地擁壁等復旧事業費補助)	1億7,376
肉用牛振興対策事業(和牛・乳用後継牛生産受精卵移植等支援事業、民間レンタル牛確保支援等)	665
勤労青少年ホーム・中央集会所解体事業(解体に向けた設計業務)	168
自営光網設備等管理費(落雷による損傷、梅雨前線豪雨による法面崩落に伴う共架電柱折損)	467
空き家対策事業(島根県西部地震の影響による空き家等の不良化や除却の実態を把握するための再調査)	500

【継続審査(総務教育委員会付託)】
地方ローカル線の維持・存続に
関し法改正を求めること
(請願者)国鉄労働組合米子地方
本部 執行委員長 倉下文明
【継続審査(民生委員会付託)】
小型風力発電所建設に関する事
(請願者)鳥井町自治会連合会
会長 大原伸外1名

認定する

平成29年度の決算(一般会計、特別会計、公営企業会計)については、決算審査特別委員会を設置し、審査を行い、全件認定しました。

一般会計及び特別会計歳入歳出決算

	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	247億1,548万円	243億3,790万円
特別会計	136億3,487万円	134億1,919万円

●一般・特別会計決算審査特別委員会

※◎委員長 ○副委員長

◎木村 幸司 ○松村 信之
林 茂樹 清水 勝
森山 明弘 三谷 健
和田 浩司 根宜 和之
亀谷 優子



木村 幸司 委員長

平成29年度一般会計及び特別会計決算認定について審査した。主な質疑、意見について報告する。

◆地域交通

問 年々事業に対する補助額が増えている。大田市として業者に対して指摘するところは指摘しないといけないのではないか。

答 乗客の少ない路線については、公共交通見直し基準を設け、大田市公共交通網形成計画を策定している。計画や乗車人数に基づきながら、整理や、見直しをする必要があると認識している。業者とは、適宜現状などの意見交換をしている。

◆防災行政無線増設整備事業

問 災害時に聞こえないという状況も聞いている。費用の割には効果が薄いように感じるがいかがか。

答 Jアラートとも連動した施設で、平成25・26年度で103局設置しており、平成28・29年度の継続事業で、観光地や土砂災害想定地域に20局増設し、123局をもって整備完了したと考えている。メール配信や音声告知放送など、あらゆる手段を使って、情報発信することとしている。

る。人と人とのつながりも情報手段の一つであるので、コミュニケーションをしっかりとっていただきたい旨の指導もしている。

◆保育料等の不納欠損処分

問 結果的に徴収率は上がるが、保育士に納入資格を与える等して、不納欠損処分をより少なくする体制作りが必要ではないか。

答 今回の不納欠損は、転居先も不明で、連絡が全く取れず時効を迎えたものに対して不納欠損したもので、過年にわたる未収金等について、5年が経過したので不納欠損することということでなく、現年分も含め、徴収する努力を怠ることなく、取り組んでいく。

◆出雲エネルギーセンター負担金

問 いつまで発生するか。

答 負担金については、管理費は平成33年度まで、周辺整備負担金は平成41年度まで、建設公債費は今年度で終わりとなる。

◆ふるさと大田産業育成事業

問 若い人が開業することは良いことと思うが、補助金を出してすぐに店じまいするといったことではないかと思うが現状はどうか。

答 現在、2軒が閉店あるいは休業している。今後の対応については、商工団体にも協議に入ってもらっている中で、商工団体や県などと連携しながら進めていく。また現在、

商工団体と開業に向けた協議を行っており、意見書も提出いただく中で支援している。開業後の見通しについては当然必要なことなので、改めて、商工団体とも連携を密にする中で取り組んでいく。

◆市営住宅使用料

問 督促以外の法的手段もとるべきではないか。

答 市債権であり強制徴収権がないので、債務者の状況を考慮しながら、夜間徴収や納付相談に応じるなど、支払いいただける範囲内で、お支払いいただいている。

◆県内学力調査

問 先生の負担になっていないか。

答 負担になっていないとはいえないが、採点をするにより生徒それぞれ状況等も把握することができ、有意義なことと感じている、という認識である。

主な指摘事項

- ①各部署にまたがった事業が多い。決算資料を作成する際、事業を取りまとめた資料を別途作成していただくなど、わかりやすい資料作成に努めてほしい。
- ②収入未済について、引き続き未収金の回収に努めてほしい。職員のみならず、弁護士等も活用する中で取り組んでいただきたい。

平成29年度決算審査全会計決算

公営企業会計決算

●公営企業会計決算審査特別委員会

※◎委員長 ○副委員長

◎胡摩田弘孝 ○森山 幸太
塩谷 裕志 ○大西 修
河村 賢治 ○小林 太
石田 洋治 ○小川 和也

	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
水道事業会計	11億9,646万円	11億4,475万円	3億7,745万円	7億7,932万円
	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
病院事業会計	43億671万円	44億8,373万円	6億2,615万円	7億5,663万円



胡摩田弘孝 委員長

平成29年度大田市水道事業会計利益の処分及び決算認定、平成29年度大田市病院事業会計決算認定について審査した。その結果と経緯、主な意見について報告する。

◎水道事業会計

問 簡水統合で年間総給水量、料金収入は増加しているものの、経営の効率化、適正化をどのように進めているのか。

答 簡水統合により、前年度の決算数値から大きく変動している。給水戸数は前年比14・7%増の1万5440戸、年間総配水量は24・8%増、有収水量も18・1%増となったが、有収率は前年度比4・5%減の80・5%になっており、結果として、収支差引では6359万1000円の黒字決算になったものの、前年対比では3956万9000円の減益となった。この要因は山陰道関連事業の営業収益の減、簡水統合の費用増加、三瓶ダムのカビ臭対策の経費増などがある。

問 漏水事故の対応や計画的な老朽管の交換を行っているか。

答 漏水などの問題発生時には速や

かに正職員が対応している。老朽管の交換は計画を前倒しして事業を行っている。今後も、計画的な老朽管の交換や施設整備を進めたい。

問 鳥根県西部地震を受け、耐震化や将来にわたっての安定的な事業を進めるためには。

答 耐震化のスピードアップや施設の更新、将来にわたって安定的な事業を行う「水道ビジョン」の作成をする中で、計画的な事業執行を進めたい。

主な指摘事項

- ①なお一層の経営努力と有収率のアップ、経費の削減、安全、安定的な有水の供給に努めてほしい。
- ②老朽管の計画的な更新をお願いする。

◎病院事業会計

延べ入院患者数は一人当たりの入院日数が短くなったことから前年より減少した。外来患者数は医師数の増加等により増加、特に回復期リハビリテーション病棟では安定的な稼働により、患者数が増加し、回復期機能強化を図ることができた。入院収益は増収となった。訪問看護を含めた外来収益も増収となり、病院事業収益合計でも増額となったが、一方で人件費、薬品費の増加、電子カルテシステムの減価償却費などを含め、経費も増額となった。

この結果、減価償却前の収支は、6071万2000円の黒字であったとの報告を受けた。

問 整形の医師確保が経営収益の改善に繋がると思われるが、専門医の確保は期待できるのか。

答 大田二次医療圏の中核病院として、住民に信頼される病院づくりに努めるとともに、良質な医療サービスを安定的に供給していくための診療体制の整備や経営の効率化、健全化に向け様々な取り組みを進めてきた。そのことが収益の向上にも繋がっている。経営的観点からも整形の専門医の確保は必要不可欠だと考えている。全国的にも整形の医師不足が深刻化している中ではあるが、引き続き体制整備と大学への要望活動を進めて行きたい。

問 研修医の体制と看護師の確保は。

答 研修医については一部専門領域での指導医師の不足、看護師については一定程度確保されているが、大田市圏域では絶対数の不足が挙げられる。いずれにしても引き続き人員確保に努めたい。

主な指摘事項

経営努力を大いに評価する。新病院開設に向け、なお一層の地域医療の充実と健全化に期待している。

【平成29年度一般会計及び特別会計決算認定議案】

定例会の最終日の表決に先立って行われた反対・賛成の意思表示である討論の要旨は次のとおりです。

市民の暮らしと福祉を守る 防波堤となったか

- ①職員定数削減は中止すべきである。総人件費抑制策によって、職員の士気や組織の活力が低下しており、市民サービスへの影響が懸念される。正規職員をはじめ、嘱託職員、臨時職員の労働条件改善を求める。
- ②税金や社会保険料を滞納した低所得者に対する厳しい徴収が行われている。生活に困窮する市民の生活相談に応じる体制を整える等、市民の生活再建に力を注ぐべきである。
- ③持続可能な農業経営の実現で、価格補償と生産コストをカバーする支援策を講じるべきである。また、担い手育成

のためにも、家族農業・生きがい農業への支援策も考えるべきである。

④次期可燃ごみ処理施設整備について、邑智郡総合事務組合への負担金は議会としては報告を受けるのみである。事業の進捗に対する意見の反映を講じるべきである。

⑤子どもへの負担増、学校間の序列化や競争を生む学力テストを中止すべきである。真の学力向上への道は、少人数学級の推進、教育費の無償化など子どもたちが安心して学べるための教育環境整備を進めることである。また、多忙を極める教職員の勤務環境を改善することや子育てに不安を持つ保護者を支援することである。



大西 修 議員

反 対

効率的な予算執行が図られた

「健康まちづくり」、「石見銀山遺跡世界遺産登録10周年事業」、「国立公園満喫プロジェクト」、「仁摩地区道の駅整備事業」などの重点事業や、平成27年度に策定された「大田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に盛り込まれた施策及び「大田市総合計画後期計画（改訂版）」に掲げられた主要施策が実施された。

この結果、一般会計、特別会計合わせた歳入歳出差引きは黒字となり、市債残高は前年度より3%減、基金残高は取崩し額が新規積立額を大きく上回った。

歳 入

①どがなかなか大田ふるさと寄附金は27.24%減であった。各地方公共団体が行っている返礼品の送付については、平成29年9月より寄附額に対する返礼品の調達価格の割合を3割以下としたところであり、3割近い減額はやむを

得ない状況であったと判断している。一方、石見銀山基金事業寄付金や一般寄付金は、各々1千万円以上増額となっている。

②コンビニ収納サービス、滞納処分の実施に加え、前年度に引き続いての収納対策により、市税、国民健康保険料及び後期高齢者医療保険料、保育料、市営住宅使用料の収納率が上昇していることは、評価したい。

③市債については、前年より発行額が47.8%の増額となったが、合併振興基金の新規積立てや防災行政無線増設整備事業、仁摩地区道の駅整備事業、橋梁長寿命化事業などの実施に基づくもので、計画どおりと判断している。

歳 出

①一般会計については執行率が96.5%となったが、新大田市立病院建設事業や仁摩地区道の駅整備事業、次期可燃物処理施設整備の費用など多額の重点継続事業によるものと理解すると同時に、無駄な支出の抑制が不用額となる事業もあり、効率的な予算執行がなされた結果と受け止めている。



森山 明弘 議員

賛 成

◇9月定例会提出議案等賛否一覧表

議員名等 議案名	議決結果	賛 成	反 対 等	林 茂 樹	亀 谷 優 子	根 宜 和 之	和 田 浩 司	三 谷 健	森 山 幸 太	胡 摩 田 弘 孝	森 山 明 弘	小 川 和 也	石 田 洋 治	松 村 信 之 太	小 林 賢 治	河 村 芳 秀	内 藤 芳 修	大 西 和 弘	月 森 和 弘	木 村 幸 司	塩 谷 裕 志	清 水 勝	石 橋 秀 利
■市長提出議案																							
議案第20号 平成29年度大田市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	17:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号 平成29年度大田市水道事業会計利益の処分及び決算認定について	原案可決及び認定	17:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号 平成29年度大田市病院事業会計決算認定について	原案認定	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号 平成30年度大田市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	17:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号 平成30年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号 平成30年度大田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号 平成30年度大田市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号 平成30年度大田市簡易給水施設事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号 大田市税条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号 大田市地域振興を促進するための固定資産税の課税免除等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号 大田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号 第2次大田市総合計画基本構想の策定について	原案可決	18:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第32号 大田市立波根保育園の指定管理者の指定について	原案可決	17:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号 都市公園整備事業大田総合体育館改修建築主体工事請負契約の締結について	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■議員提出議案																							
議案第34号 特別委員会の設置について(一般・特別会計決算審査)	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号 特別委員会の設置について(公営企業会計決算審査)	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号 特別委員会の設置について(大田市総合計画審査検討)	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号 特別委員会の設置について(大田市議会改革・魅力化調査検討)	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■請願・陳情																							
請願第1号 大田市内の公立小・中学校の教室等に「エアコン設置」を求めることについて	継続審査																						議会閉会中の継続審査(総務教育委員会付託)
請願第2号 地方ローカル線の維持・存続に関し法改正を求めることについて	継続審査																						議会閉会中の継続審査(総務教育委員会付託)
請願第3号 小型風力発電所建設に関する事	継続審査																						議会閉会中の継続審査(民生委員会付託)

※定数20名、うち議長(石橋秀利)は採決に加わりません ※○は賛成、●は反対等(反対、継続審査、態度保留等々)

祝静間町敬老会

いっぱん質問

市政に対する一般質問は、9月6日、7日に行われ、11人の議員が執行部の考えをたどしました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は、紙面の都合上、広報広聴委員会で選定し、1人1議題としています。(内容は、ホームページ(<http://www.city.ohda.lg.jp/>)で閲覧できます。)

▲鳴子を手に持ち、よっちょれ(よさこい踊り)を披露する静間・鳥井保育園園長児

答弁 住民の方から市独自のガイドラインを制定するよう要望があったが、現在、小型風力発電施設の建設において、資源エネルギー庁のガイドラインには発電施設から

質問 鳥井町に小型風力発電所が建設されようとしている。この風力発電は、騒音と低周波、また、台風などによる倒壊の欠点がある。建設予定地に一番近い建物は30mで、200m以内には多くの住民が生活している。住民からは「低周波、騒音などで健康や生活が守れるのか」などの声がある。そこで鳥井町連合自治会の要望を受け、どのような対策を考えているのか伺う。

小型風力発電に関する 条例制定を求める

強制力はないが、
先進自治体からの
情報収集に努める

おおにし おさむ
大西 修 議員



▲風力発電

の距離など具体的なものは示されていない。
市として、事業者には住民の方々の理解を求めるよう要望はし続けるが、強制力のあるものではない。小型風力発電施設建設に係るガイドラインについての資料を集めたり、既にガイドラインを策定されている自治体に聞き取りを行ったりするなど、情報収集に努めているところである。今後の案件に適用されるよう検討したい。



早期に 室内温水プール建設を

年次計画、財政推計を立て、
進めていく

おがわ かすや
小川 和也 議員



必要がある。市内14ヶ所の学校プールについては、大半の施設が40年以上経過しており温水プールの必要性は高まっている。今後のスケジュール等については、第2期大田市スポーツ推進計画に掲げている競技スポーツ等多目的な活用を考えている。

また、運営方法については、公設民営、PFI方式等を含め検討していく。財政面からすると、現在大型プロジェクトが続く中、温水プールの必要性と財源確保のバランスを取りながら学校施設全体を含め年次計画、財政推計を立てる中で進めていきたい。

答弁 温水プールについては、学校の健康増進や体力向上、介護予防、水泳競技力の向上の観点から年間を通して使用できるように考え整備する

質問 平成26年3月に市議会全員協議会で「学校プールのあり方について」説明があり、その後、庁内関係課による検討チームでさまざまな協議をされた。第2期大田市スポーツ推進計画や大田市総合計画後期計画で室内温水プールの考え方が明記された。全ての市民の健康増進や高齢者の介護予防の取り組みのためにも、できるだけ早期に室内温水プールを建設すべきと考えるがいかがか。

▶ 解体された五十猛温水プール



学校現場での 熱中症対策を

エアコンを設置する必要があると認識している

かめたに ゆうこ
亀谷 優子 議員



児童生徒が安心して、快適な環境で学習できるよう、また、教職員の職場環境の改善の点からも、全ての普通教室に早急にエアコンを設置する必要があると認識している。

設置に向けての経済性や維持管理もあるので、今、調査している最中である。

指定避難所となる施設には、避難生活の環境を良好に保つために必要な設備の整備に努めることとしているが、学校体育館は、本来、教育活動の場であることから、避難所としての役割は、応急的な施設利用となると考えている。

答弁 エアコン設置に向けた計画を策定するため、本年6月から9月にかけて、全校の普通教室内において1日3回、温度と湿度を記録し、児童生徒の学習環境の実態調査を行っている。

質問 今年の夏は災害レベルの猛暑が続いたが、大田市の小中学校普通教室へのエアコン設置率は小学校1・7%、中学校4・3%である。児童・生徒の命と健康を守り、適切な学習環境を提供するために、小中学校の普通教室と、災害時に避難所になっている体育館にエアコンを設置することを一刻も早く決断すべきではないか。

従って、学校体育館へのエアコン設置については、現在のところ考えていないが、災害時において必要な場合は空調機器等のレンタルなどにより対応したい。

▶ 久屋小学校授業の様子



保育園の建て替えと再編計画の協議を

スピード感をもって
計画に取り組む

ね ぎ かずゆき
根 宜 和 之 議員



極的な活用等総合的に勘案しながら保育環境の整備に努めることとし、指定管理者制度の導入や民営化を進める。

また、施設の建て替えを行う場合は民営化による有利な補助金等の制度を活用し進めるとともに、旧耐震基準の園については、優先的に施設整備を進める。

なお、施設整備については、計画を策定する段階で終了年度を定めスピード感を持って計画に取り組む。

質問

「大田市子ども・子育て支援事業計画」により、公立保育園のあり方と施設整備の計画が決まっている。

しかし、その実施計画のスピードでは遅すぎる。地震の教訓を生かすためにも、旧耐震基準で建てられた保育園は、特に建て替えを急ぐべきではないか。同時に「保育所再編計画」の協議を行い、保育園運営のあり方も含め、検討する時期ではないか。

答弁

現在、来年度策定予定である第2期大田市子ども・子育て支援計画にあわせ、公立保育所のあり方について再度検討を進めている。今後、園の再編、民間活力の積

▶旧耐震基準の大田保育園



大田市の林業施策を問う

森林業関係者と連携し、
取り組んでいく

こ ま だ ひろたか
胡 摩 田 弘 孝 議員



した林業、木材産業の成長産業化である。このため、重点的な取り組みのひとつに、間伐に加え主伐による原木生産の推進を掲げ、関係者が連携して取り組むこととしている。

また、平成31年度からの森林環境譲与税については、今後必要となる調査や原木生産技術者の育成、確保に向けた対策に重点的に活用することを考えている。

市として、全国植樹祭や森林環境譲与税の導入を契機に、地域林業、木材産業等関係者がより連携し、構想実現に向けて取り組んでいくよう支援していく。

質問

森林は多面的機能があり、国土保全など私たちが受ける恩恵は計り知れないものがある。

大田市には、豊かな森林資源があり、地域資源を生かした事業を進めることは、地域の活性化や新たな雇用にもつながると思われる。そこで、森づくり推進室の役割、林業関係団体との連携の状況や全国植樹祭、森林環境譲与税を踏まえた市の施策について伺う。

答弁

平成27年度に森づくり推進室を設置後、平成28年度末には、「大田市未来へつなぐ森づくり構想」を策定した。この構想の最大のポイントは、豊富な森林資源を活用



▲林業現場を視察する楢野市長(右から2番目)

多文化共生に向け、 今後の市のビジョンは

指針となる
計画づくりを検討していく

みたに 三谷 議員
たけし 健



めの取り組みとして、外国語版の母子手帳の発行、救急搬送時における翻訳機器の配備、市民課標示板でのひらがなルビの表示などを行っているが、行政サービスの対応としては不十分であると認識している。今後は、出雲市の取り組み等を参考にしながら進めていく。

質問 出雲市は、在住外国人に
対し、様々な行政施策、官民
一体となったサポートを行い、市
長も多文化共生を推進している。
大田市はこの点で、立ち遅れが否
めない。この度の地震では、在住外
国人の不安、行政への不満も表れ
ており、当市も少なからず対策を
講じるべきと考えるが、市のビ
ジョン、今後の施策について伺う。

答弁 日本においては、社会全体
のグローバル化が進んでお
り、観光や労働などさまざまな分野
で外国人の方と関わる事が多く
なった。
当市においても、外国人住民の方
は増加傾向にあり、多文化共生のた

多文化共生の実現のために、在住外国人の方にとって、住みよい環境となるよう、行政サービスの面において、多文化共生を推進する施策を積極的に実施する必要がある。その上で、地域全体で多文化共生のまちづくりを推進するといふ考え方が必要だ。今後、多文化共生に取り組むための指針となる計画づくりを、検討・策定していき



「おぞい多文化のまち」の様子

都市計画税の あり様について問う

3点の課題があると
認識している

ないとう 内藤 議員
よしひで 芳秀



1 点目は、課税対象地域の中で、未だ具体的な事業の実施がなされていない事例がある。
2 点目は、逆に課税対象外地域で、都市計画事業が実施されている事例がある。

質問 都市計画税は、都市計画
事業、区画整理事業、下水道
事業等に要する費用に充てるため
に目的税として課税されるもので
あるが、公平・公正・分かりやす
さの観点から見た時、分かりにく
さがある。

大田市はいつから都市計画税を
導入してきたか。また、課題につ
いてどのように捉えているか。

答弁 都市計画税の導入時期に
ついては、昭和32年度であ
り、その後一旦昭和39年度から昭和
41年度まで廃止期間があり、昭和42年
度から再導入し、今日に至っている。
本税には、3点の課題があると認識
している。

3 点目は、平成26年度に追加指定した用途地域について、課税を行っていない。
都市計画事業は、下水道、駅前開発など、まだまだこれからという時期である。財源を考えると、すぐに都市計画税を廃止したり、税率を下げたりというのは現実的ではないと財政運営上思っている。しかし、都市計画事業がある程度が見込みが立った段階で、検討をする時代が来るのではないかと思っ



▲都市計画区域内の駅南町

大田自動車学校の 存続に向けて

市や第三セクターでの 運営は困難

しみず まさる
清水 勝 議員



し、市での直営や第三セクターでの学校運営ができないか、運営経費や老朽化した施設等の整備に関する助成など、運営体制や支援策について打診や相談があった。

市としては、他の自治体の運営事例等の調査や検討をする中で、市や第三セクターでの運営は、困難であると判断した。

一方で、コース整備等にかかる経費の一部支援や利用促進に向けた支援の可能性など、市からも法人に提案や協議も行ってきたが、出雲自動車学校への統合の方針が決定され、大変残念に思っている。

なお、今後、免許取得や高齢者講習については、

県公安委員会、県警、学校法人の対応を踏まえ、市としてできる対応を検討していく。

答弁 厳しい経営状況にある大田自動車学校から当市に對

質問 大田自動車学校は57年間安心・安全な車社会を目指し重要な役割を担ってこられたが、

島根自動車学園理事会は来年夏頃に閉校することを表明した。大田自動車学校の存在は、地元高校生の免許取得の優位性や高齢者講習の利便性と経済性に与える影響は大きなものがある。赤字の主な要因は土地借上料や高齢者講習に対する低い委託料等のようだ。検証と見直しを求められたい。また、公共公益性も備えた教習機関である観点から、経営母体のあり方や第三セクターを含め行政として対処されることを伺う。

大田自動車学校から当市に對



▲大田自動車学校

学校施設や通学路の ブロック塀等の 安全確保を

安全確保に努め 早急に対処する

いしだ ようじ
石田 洋治 議員



必要な箇所は補強等の工事を行うため、現在、発注を行っている。公立、民間の保育施設については、島根県西部地震災害復旧事業で修繕することになっている。

(2)各校とも学校保健安全法に基づき学校安全計画を策定し、毎学期通学路の安全点検を行っている。大田市通学路交通安全プログラムに基づき、大田警察署、国土交通省松江国道事務所、島根県県央県土整備事務所等と危険な箇所の現地確認や、合同点検を毎年実施している。

この点検の成果として、防犯灯、ガードレール、防犯カメラの設置や横断歩道の新設、歩道の拡幅やカラー舗装など、改善に向けて取り組んでいる。

(1)学校・幼稚園、保育施設などのブロック塀等の安全点検状況について

(2)学校防災マニュアルに基づく通学路の確認について

答弁 (1)建築基準法施行令に適合しないブロック塀、適合するが老朽化して危険な箇所は撤去し、

質問 大阪北部を震源とする地震により女子児童が亡くなる事故が発生したことを受け、文部科学省から都道府県教育委員会に安全点検等状況調査や、学校施設の適切な管理について通知が出されている。大田市における学校施設や通学路の安全確保について所見を伺う。



▲4月9日島根県西部地震により被害のあった久手町内通学路

市内小中学校教室への エアコン設置の 市独自の財源確保を

国や県に対し要望していく

もりやま こうた 議員
森山 幸太



ている。また、教室内は、文部科学省が28度以下と定める環境衛生基準をはるかに超える環境であった。

学校教室へのエアコン設置については来年度に間に合うよう、事業費、スケジュール等現在検討している。

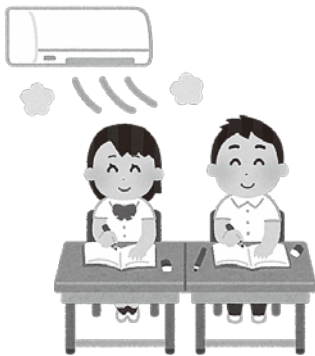
また、整備費、維持管理費等については、多額の財源を要するため、今後国や県に対し要望していく。また、ふるさと納税がこの財源に適しているか検討するとともに、これに特化するだけでなく他の財源等も含め対応していきたい。

質問

エアコンのない高温の教室等で学び子どもたちは、いつ熱中症になってもおかしくない状況である。学力向上が課題と言われている中で、やはり安全安心が守られた上で、学力向上に取り組むべきである。エアコンの設置・維持・管理費補助を、ふるさと納税の寄付を募るなど、市独自の財政支援に取り組むべきであると考えますが、所見を伺う。

回答

大田市の学校エアコン設置状況は小学校117教室、中2教室、中学校47教室中2教室、小学校特別教室139教室中13教室、中学校特別教室86教室中16教室であり、全体の整備率は8・5%となつ



行政事業に コレクティブインパクト の導入を

駅前開発に有効な手段である

わだ こうじ 議員
和田 浩司



質問

従来、市が実施してきた事業において、今後予算の透明性と合理性を確保し、かつ市の事務事業の簡素化及び確実な事業の成果を獲得するために、多職種連携の民間組織による事業の企画立案及び実践を行うコレクティブインパクトの概念を導入すべきと考えますが、所見を伺う。

回答

紹介のあったコレクティブインパクトは、駅前の再開発において、有効な手段ではないかと考える。これまでに、大田警察署と「まちづくりに関する協定」を締結した。また、JR西日本米子支社にも駅前再開発について参加の意向を伺った。まちづくりをする場合、警察署か

らの意見を参考にすることやJRなど交通機関を担う方々の参画も必要と考える。もちろん市民一人一人の参加も必要であり、それぞれの役割の方々がしっかりと話し合う中で良い町をつくり上げていかななくてはならない。資金については金融機関、市内の投資家などが出し合う形もとれるのではないかと。大田市駅前の再開発を、その様な形で進める事が出来れば非常に理想的であると考えます。

(※)コレクティブインパクトとは立場の異なる組織(行政、企業、NPO、財団など)が、組織の壁を越えてお互いの強みを出し合い社会的課題の解決を目指すこと。



行財政改革特別委員長 中間報告

財政健全化に資する
意見書がでる
委員会に



森山 明弘 委員長

6月定例会最終日に設置された行
財政改革特別委員会を2回開催。

①第1回(7月4日)

今年度の方向性について協議し、
次の意見が出た。

- ・市の実施施策の評価だけでなく、
議会としての提案を一つの議題と
して取り上げてはどうか。
- ・事務事業評価は、公共施設適正化
計画や使用料及び手数料の見直し
等については継続して実施するべ
きではないか。
- ・事務事業評価の継続を強く求める。

②第2回(8月17日)

行財政改革推進本部長(副市長)よ
り、引き続き着実に行財政改革を進
めていきたいと挨拶をいただいた後、
第3次大田市行財政改革推進大綱実
施計画の平成29年度の実績見込みに

ついて報告を受けた。
各委員からの具体的質問は、次の
とおり多岐にわたった。

- ・地域おこし協力隊の実績
 - ・パブリックコメントの実施のあり
方
 - ・マイナンバーカードの発行状況
 - ・公共施設適正化計画の考え方
 - ・指定管理者制度の導入施設別効果
額及び労働条件審査の実施状況
 - ・公立幼稚園のあり方
 - ・学校再編実施計画の状況
 - ・第3次定員適正化計画の考え方
 - ・係長級以上に占める女性職員比率
の目標
 - ・使用料、手数料の見直し
- 次回の委員会で、事務事業評価の
事業項目を決定する。



▲昨年の事務事業評価の様子

議員提出議案

▼大田市総合計画審査検討特別委員
会の設置

(目的)大田市総合計画基本構想の審
査、基本計画の策定に関する検討、意
見書

(委員)※◎委員長 ○副委員長

- ◎小川 和也 ○森山 幸太
- 清水 勝 木村 幸司
- 内藤 芳秀 小林 太
- 石田 洋治 胡摩田弘孝
- 和田 浩司

大田市総合計画審査 検討特別委員長報告

全体スケジュール、基本構想の策
定経過、第2次大田市総合計画基本
構想について説明を受け、質疑、採決
を行った。結果は賛成多数原案可決
であり、可否判定での主な意見は次
のとおりである。

- ・課題を解決できる計画策定に取り
組んでいただきたい。
- ・議会の意見が反映され文言修正等
が可能な会であるべきだ。

▼大田市議会改革・魅力化調査検討
特別委員会設置

(目的)大田市議会の改革及び魅力化
に関する調査検討

- (委員)
- 清水 勝 塩谷 裕志
- 内藤 芳秀 河村 賢治
- 小林 太 小川 和也
- 胡摩田弘孝 森山 幸太
- 和田 浩司 亀谷 優子

全員協議会の議題

議案の審査または議会の
運営に関する協議・調整を
おこないます

7月4日

- ・新可燃ごみ共同処理施設
- ・その他

○平成30年4月9日の地震に対
する支援に係る要望(県要望)

7月10日

- ・議会報告会

8月24日

- ・大田市東部を震源とする震災の
取り組み及び予算の状況
- ・国民宿舎さんべ荘の改修

9月3日

- ・支所・まちづくり体制のあり方
- ・株式会社ゆのつの解散に係る今
後の対応等
- ・2020年「第71回全国植樹祭」

9月10日

- ・大田市まち・ひと・しごと創生
総合戦略

- ・平成29年度に実施した施策の検証
- ・大田市立病院の運営状況

9月27日

- ・大田市立病院新館の取り扱い
- ・新可燃ごみ共同処理施設
- ・仁摩地区道の駅整備事業

議会報告会を開催しました!

大田市議会では今年度も、7月28日に市内7カ所で議会報告会を開催しました。

報告会では、3月市議会定例会での当初予算等について報告し、お出かけいただいた市民の皆さんからたくさんのご意見をいただきました。

本号では、その概要をお知らせするとともに、

ご意見に対する執行部からの回答と議会からの回答とをあわせて報告いたします。

大田市議会ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.city.ohda.lg.jp/>

貴重なご意見ありがとうございました

ブロック	開催時間	開催場所	参加者数
中央ブロック	13:30~15:00	久利まちづくりセンター	14人
東部ブロック	19:00~20:24	朝山まちづくりセンター	8人
西部ブロック	14:00~15:30	鳥井まちづくりセンター	9人
三瓶ブロック	13:30~15:00	志学まちづくりセンター	6人
高山ブロック	13:30~14:40	大代まちづくりセンター	4人
温泉津ブロック	19:00~20:40	井田まちづくりセンター	10人
仁摩ブロック	19:00~20:30	大国まちづくりセンター	7人
			計58人

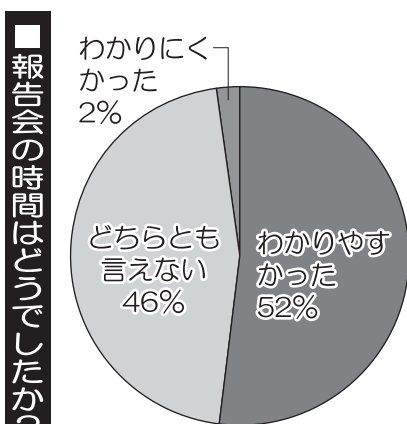
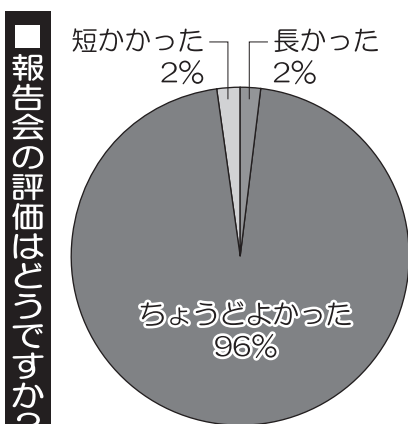
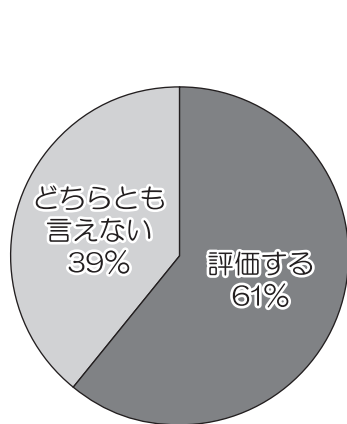
1. 実施状況

2. アンケート結果

議会傍聴……………(複数回答)	3人
議会だより……………(複数回答)	41人
ケーブルテレビ……………(複数回答)	20人
ホームページ……………(複数回答)	4人
その他……………(複数回答)	2人

■市議会の情報をどんな手段で得ていますか?

回答者の内訳	
《性別》	男性 39人 女性 11人 未記入 3人
《年代別》	30代 1人 40代 0人 50代 6人 60代 19人 70代 23人 80代 1人 未記入 3人



■ 報告会の内容はわかりやすかったですか?

3. 主な質疑・意見と それに対する回答

議会に対する要望・意見

■市議会の役割

○地域のことは地域にまかせて、行政はもっと大きな視点で大田のあり様を解決していくことに専念すべきと考える。行政の行き過ぎを議会としてチェックをかけていく、そういう機能を再構築していくことが求められているのではないか。

《回答》

議会の役割は、大きく2つあります。その一つが、「市長等が提案し、



▲議会報告会(井田会場)

議会が決定した政策が、適正に実施されているか監視すること」、もう一つが「議会が自ら政策を提案すること」であります。そのためにも、議員は監視力、審査能力及び情報分析能力の向上はもとより、政策等の形成及び立案能力の向上に努めております。引き続き、市長等に対しては適度な距離感を保ちながら、適切な行政執行となるよう、監視を続けて参ります。

執行部に対する要望・意見

■小さな拠点・まちづくり

○井田地区については、これから勉強して、メンバーづくりから始めようとしているところ。地域交通や買い物支援の問題があるが、正直、本当に困っているのかということも分かっていないのが現状。みんながこの地区で生活していくという前提で考えたとき、目先の小さな取り組みだけでは、なかなかニーズにマッチできないような印象を持っている。これから本当のニーズを調べながら、動いてみたいと思っているので、そのときにはいろいろと事例を紹介してもらいたい。

《回答》

持続可能なまちづくり(小さな拠点づくり)を進める上で、地域住民

の皆さんが自ら地域の状況や課題について話し合い、把握していくことが、その第一歩となるものであり、最も重要と考えております。

市では、現在、各地域における勉強会や話し合いに出かけ、持続可能なまちづくり(小さな拠点づくり)の内容の説明や先進事例の紹介に努めているところです。

引き続き、各地域へ出かけ、地域住民の話し合いへの参画や、コーディネートを行うとともに、先進地の取り組みだけではなく、組織づくりや計画づくりのプロセスなど、地域が必要とする情報や事例を紹介しながら、住民の皆さんと一緒に持続可能なまちづくり(小さな拠点づくり)を進めていきたいと考えております。

【政策企画部 まちづくり定住課】



▲持続可能なまちづくり勉強会

■財政健全化

○概ね、大田市の財政は健全であろうかと思う。気になることは市税収入が35・8億円に対し、公債費が33億円となっており、決していい姿ではないので、できるだけ公債費比率を下げていく必要がある。健全な大田市に戻していただきたい。

例えば話であるが、土地改良事業で地元負担金があり、農道部分や用排水路部分については大田市が持ちましようということがある場合、その事業費を債務負担行為として計上することがあるのかを伺う。その場合、公債費比率の上に隠れ借金としてあるのであれば問題である。

《回答》

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」において、地方公共団体は毎年度その健全化判断比率を公表しなければならないことになっており、大田市においても大田市のホームページにおいて公表を行っています。

お問い合せのありました土地改良事業で地元負担金があり、その農道部分や用排水路部分について、一般車両の交通量や一般家庭から流れ込む生活排水の量を勘案する中で大田市が負担したことはこれまでもあった事例です。

この場合は後年度大田市が負担する額を債務負担行為という予算で計

上することになります。この債務負担行為額は健全化判断比率の判断項目である実質公債費比率や将来負担比率の計算に算入されることになっているため、この債務負担行為額を含めて計算したものを公表していませんので、ご指摘のような扱いにはなっていません。

【総務部 財政課】

■保健師の配置体制と役割

○温泉津支所に保健師が配置されていない。現在どのような配置体制になっているのか。地域包括ケアセンターのケアマネージャーの動きと保健師の動きと共通している部分があると思えてならない。合体したような仕事にすれば、雰囲気が変わるのではないか。ケアマネージャー的な相談を受けながら、保健師としての仕事を行えるメリットが出てくる。

《回答》

温泉津・仁摩両支所には平成23年度まで1名ずつ保健師を配置してありましたが、現在は本庁に集約し、各地区に担当保健師を配置し、1名が温泉津地区を担当しています。

健康増進課保健師は、妊産婦、乳幼児から高齢者の健（検）診や健康教育、健康相談、家庭訪問、各まちづくりセンターを中心とした地域での健康づくり活動に関わっています。一方地域包括支援センターのケア

マネージャーは、地域の高齢者の方の介護や福祉に関する相談支援を行っています。相談内容に応じて、地区担当保健師とケアマネージャーが連携し対応しています。

【健康福祉部 健康増進課】



▲保健師による健康教室

■環境保全整備

○大江高山の登山道だが、以前は地元有志で除草作業等の登山道保全活動を行ってきた。現在、広島県を中心に多方面からの登山客も来山していただいている状況であるが、高齢化が進み、地元住民では保全活動が困難な状況である。保全活動に資する予算措置あるいは、環境整備に即した保全活動等、行政側で対応いただくことはできないか。

《回答》

希少動植物が生息している三瓶山や大江高山周辺については、関係機関・保全団体の皆様と連携し、周辺環境の保全に努めているところです。市では市民団体などが取り組む自然環境に関する保全活動や普及啓発活動について、活動費の一部を助成する制度を設けています。

これまで地域の皆様で取り組まれているところであり、環境保全活動支援事業補助金の活用について、ご検討をお願いしたいと考えております。

【環境生活部 環境政策課】



▲大代高山会による大江高山登山道除草作業

■仁摩道の駅

○開駅した後の経営責任は、最終的に大田市にある。設備投資はしたが採算が合わない懸念がある。概ね5年くらいはやっていけるかと思うが、6年目以降の見極めというか、元々

の投資（経費）の削減ができないのか。

仁摩・石見銀山一Cを降りた車は、現状10台、石見銀山方面には1台くらいしか向かわないように思う。

仁摩静間間が通行できるようにになるとさらに減る可能性があることも、石見銀山遺跡へのアクセスは大田、広島方面からもあり、焦点のぼやけた立地条件である。

この悪条件を克服するためには、大田市を代表する自立した産品（土産品）が提供できる体制が必要である。

そのためには、提供できる団体等を単に募集するというにとどまらず、育成していくことが不可欠である。設置に向け、地元住民を盛り上げていく努力をしていただきたい。道の駅に温泉を引くことはできないのか。

《回答》

仁摩道の駅（仮称）については、産地直売の充実や新規特産品の開発、恒常的な賑わいづくりなど、仁摩道の駅（仮称）ならではの魅力をしっかりと打ち出して集客を図り、安定経営に繋げて参ります。

施設については、魅力ある道の駅の運営に必要な機能に絞り込み、当初整備計画より規模を縮小しコンパクトにスタートしたいと考えております。

山陰道が開通した際には、通行車両の増加が見込まれます。そこで、

新たに道の駅を整備することにより、通行する車を山陰道から引き込む仕組みを作りたいと考えています。大田、広島方面から来られる観光客も、仁摩道の駅(仮称)から観光をスタートしてもらえそうな仕組み作りや、大田市を代表する『ここしかない』特産品開発など、道の駅に立ち寄りたくなる仕掛けを、関係団体や事業者、地元の方々と協議を重ね検討してまいります。

温泉という意見をいただきました。当初は足湯をつくり、集客を図りながら市内温泉のPRを図ろうと検討していましたが、設置費や維持費に莫大な費用がかかるため設置を断念しております。

現在は道の駅において、近隣及び市内の温泉施設への誘客を図るための情報発信を積極的に行いたいと考えております。

【産業振興部 道の駅推進室】

■市道の草刈り

○現在、市道4kmの草刈りを何とか地元で実施しているが、一集落ではできないところが出てきた。あと4、5年すればもっと増え、維持できなくなると思う。その際には、市として協力してもらいたい。

《回答》

現在、市で実施しております除草業務は、市道1716路線、971



▲ボランティアによる市道の草刈り

kmのうち、114路線、131kmとなっております。(経費は約5000万円)

このように、市道の大部分につきましては、自治会での道路愛護団等の作業により管理していただいているところです。

今後、人口減少、高齢化等により地元での除草業務を行うことが難しくなっていくであろうことは承知しておりますので、地元自治会等の皆様と協力しながら、計画的に対応をしていく必要があると考えております。

【建設部 土木課】

■新大田市立病院の整形外科医の確保

○どうしても整形外科医を確保して開院してほしい。整形外科は9時半

くらいから新患は紹介状のみだと受け付けてもらえないのが現状である。整形外科の患者は本当に困っている。

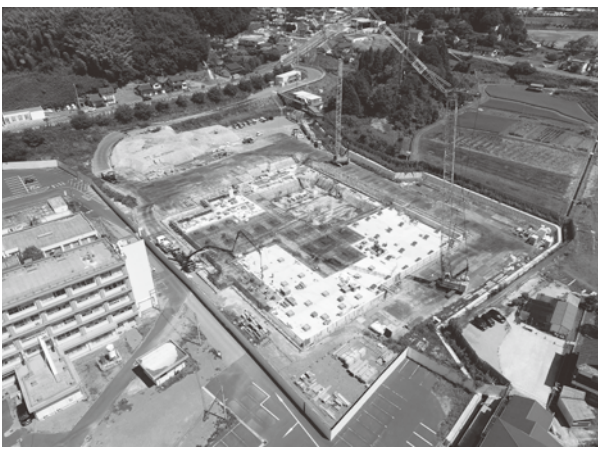
《回答》

整形外科の診療につきまして、予約患者さんが多い場合には、診療制限をさせていただくなど、ご不便をおかけしております。

現在、安定された患者さんには同意の上で、ご希望の診療所にご紹介させていただくなどの対応をしているところであります。

常勤の整形外科医の確保は不可欠ですので、島根大学医学部への派遣協力要請を継続して行い、一刻も早く着任していただけるよう努力してまいります。

【病院事務部 総務課】



▲新大田市立病院 工事の様子(8月)

■小中学校のエアコン、運動会

○小中学校エアコン設置問題はどうか。

○小中学校の運動会は春季にすべきである。

《回答》

小中学校のエアコンにつきましては、今夏の猛暑に鑑み、来年度までの設置を目指して、現在設置計画を策定しているところです。

運動会につきましては、各学校において、地元との調整の中で、開催時期を決めていただいています。大田市教育委員会として統一する考えはございません。

【教育部 総務課】



▲久屋小学校運動会(9月)

広報研修会

8月20日
タウンプラザしまね(松江市)

市民が関心を持ち、 わかりやすい広報づくり

県内市町村の議会広報編集担当議員を対象にした研修会に広報広聴委員が参加しました。

「議会への関心を高める広報」と題し、エディター・広報アナリストの吉村潔氏が講演されました。その後、参加市町村ごとに、広報誌のクリニック(診断・指導)がありました。

学んだことを活かし、議会への関心を高めていただけるような内容、企画による議会だより作成に心がけていきます。



議員研修会

7月30日
ビッグハート出雲(出雲市)

小規模多機能自治を 進化し続けるために

島根県市議会議長会議員研修会は、県内の市議会議員が一堂に会し、共通の課題に対して認識を深めるために、毎年開催されています。

『高齢化が進むと、何がどう問題なのか』と題し、川北秀人氏(IIHOE「人と組織と地球のための国際研究所」代表者)による講演がありました。市民・事業者・行政などが総力を挙げて地域を守り抜く協働・総動の基盤づくりを支援されている立場からの視点で講演をいただきました。「地方創生」への取り組みについて一層理解を深めました。



天領おどろ

8月5日

毎年恒例の天領踊りに参加しました。今年は、おそろいの浴衣姿、手には名前入り手づくりうちわを持って参加しました♪



新産業建設委員会紹介

第3回は産業建設委員会は、産業振興部、建設部、上下水道部を担当しています。それでは、“大田市のここに注目！夢☆私が考える任期4年後のおおだ”と題し、4年後の任期を一区切りとし、夢あふれる大田市の未来像を語ります。



根垣 和之委員

「おおだでも出来る！」と、夢にチャレンジする人が次々と現れ、日本全国の都市と盛んに交流する大田市！



森山 幸太委員

微かながら、将来を託す地域のリーダー(若者)育成と、地域課題を1つでも共創のもと解決、みんなと一緒に喜びたい。



塩谷 裕志委員



大西 修委員長

住んで良かったといえる大田市。各種保険料など公共料金の引き下げで、暮らし応援頑張ります。



森山 明弘副委員長



内藤 芳秀委員

体験型観光プログラムや充実したヘルスツーリズムを目的として、三瓶、大森、温泉津への観光客が増加している“おおだ”を目指します。



和田 浩司委員

赴くままに自然を楽しみ、食と景色と空気がだけで、心も身体も癒される。そんな大田になれば嬉しい。

パル再生・駅前副商業着手、

議会傍聴のご案内

次の定例会は12月の予定です。市議会を身近に感じる良い機会です。お気軽にお越しください。
 ◇傍聴席は定員64人です。
 ◇多数で傍聴に来られる場合は、あらかじめ議会事務局へご連絡ください。
 (TEL: 0854-82-1600)

広報広聴委員

- 委員長 林 茂樹
- 副委員長 木村 幸司
- 委員 松村 信之
- 委員 小川 和也
- 委員 胡摩田 弘孝
- 委員 三谷 健
- 委員 和田 浩司
- 委員 根谷 優之
- 委員 亀谷 優子

編集後記

季節は巡ります。春には当地での島根県西部地震、大阪地震。そして、夏は大変な猛暑になり、命を守る行動をして下さい。水分補給をし、熱中症対策をしてください。「放送を幾度も聞きました。8月末は台風が異常発生し、21号による関西空港の被害で日本経済に大変な被害がありました。9月議会中には、北海道で震度7の地震が起こり、各地で甚大な被害となりました。これほど自然の怖さを痛感した年はありません。朝夕めっきり涼しくなり、これからは秋の夜長を楽しむ時季です。読書の秋なども良いですが、家族団らんで災害の危険予知について話し合ってください。(松村信之)